

用語の解説

あ

【ISO14001】国際標準化機構(International Organization for Standardization)は1947年にロンドンで創設された国際的な標準規格を制定、普及促進させる機関である。日本は1952年に日本工業標準調査会が加盟している。ISOは、この機関によって認定された様々な分野の国際的な諸規格である。

ISO14001などの14000シリーズは、環境管理に関する分野の総称で、ISO14001は「環境マネジメントシステム」の「仕様及び利用の手引き」に関する規格で平成8年9月に発効し、組織が自らの事業活動に伴う環境負荷を低減するための取組を継続的に実施する手順や管理方法を定めている。

【アイドリング】機械や自動車のエンジンを、負荷をかけずに低速で空回りさせることをいう。

【アイドリングストップ】アイドリングとは、自動車の変速機のチェンジレバーをニュートラルの位置にして、エンジンを無負荷で低速回転させている状態のことをいう。アイドリングストップ運動とは、必要以上の暖気運転、運転者が車から離れている間、荷物の積み降ろしの間等、不要と考えられる場合において、アイドリングを止め、エンジンを停止することの励行を推進する運動をいう。

【アダプト制度】公園、道路、河川など公共施設の清掃や美化活動を市民ボランティアに委託、親代わりになった気持ちで管理してもらう制度。街がきれいになると同時に清掃や管理費用を削減できるメリットがある。1985年アメリカテキサス州運輸局が散乱ゴミ対策として始めた「アドプト・ア・ハイウェイ」が起源であり、善通寺市に導入されたのは、1999年4月。アダプト・プログラム、里親制度などとも言われる。

【アメニティ】第一義的には「心地よさ、快適さ、快適性、楽に暮らすために必要なものが整い、整備されていること」、生活を便利で、楽しくするもの、恩恵、特典を追加しうるものであり、そうした設備、快適もしくは適度な「環境」(自然環境・社会環境)をいう。

【アメニティ施設】魅力ある環境、快適な環境、あるいは環境の快適さ、等と表現される。安全性、衛生性、利便性に加え、静けさ、のびのび歩ける空間、身近な水辺や緑、街並みの美しさ、歴史的たたずまいなどの環境の快適性を備えた生活環境として望ましい状態を持ち合わせた施設。

【硫黄】:S 酸素族元素の一。元素記号 S 原子番号16。原子量32.1。黄色のもろい結晶。天然に単体で存在する。空气中で熱すると青白い炎を出して燃え、二酸化硫黄(亜硫酸ガス)となる。いろいろな金属と化合して硫化物をつくる。火薬・マッチ・医薬品の原料、漂白、ゴムの加硫、パルプ製造にも用いられる。

【硫黄酸化物】大気汚染物質としての硫黄酸化物(SO_x)は通常、二酸化硫黄及び三酸化硫黄をいう。大気汚染防止法では、燃料その他の物の燃焼に伴い発生する硫黄酸化物をばい煙の一種類と規定し、排出基準をK値規制として設け、さらに指定ばい煙に指定し、総量規制の対象物質としている。なお、硫黄酸化物による大気汚染が著しくなった場合には、都道府県知事は緊急時の措置を講ずることができることとしている。

【一酸化炭素】一酸化炭素は物の不完全燃焼により発生しますが、大気汚染として問題になる場合はほとんど自動車排出ガスが発生源である。一酸化炭素が吸入されると、血球素と結合してCOHb(一酸化炭素血球素)が発生し、人体組織への酸素運搬機能の障害等の生理的障害を引き起こす。

【一酸化窒素】窒素と酸素からなる物質で、化学式であらわすとNO。酸化窒素とも呼ばれる。化学的には銅に希硝酸*2を作用させたり、二酸化窒素(NO₂)に水(温水)を反応させたりすることでも生じる。常温で無色・無臭の気体。水に溶けにくく、空気よりやや重い。有機物の燃焼過程で生成し、酸素に触れると

直ちに酸化されて二酸化窒素NO₂になる。硝酸*1の製造原料。光化学スモッグや酸性雨の成因に関連する。また体内でも生成し、血管拡張作用を有する。

※1【硝酸】無色で刺激臭のある液体。化学式 HNO₃ アンモニアの酸化によって得る。空気中では発煙する。水と任意の割合で混ざり、水溶液は酸性。普通、硝酸といえば水溶液をさし、市販品は約 69 パーセントの水溶液。酸化作用が強く、銀・銅・水銀などを溶かす。合成化学の重要原料で、硝酸エステルやニトロ化合物をつくる。

※2【希硝酸】濃度の低い硝酸をいう。

【一般廃棄物】 一般廃棄物とは産業廃棄物以外のすべての廃棄物であると定義されているが、具体的には主に家庭から排出される生ごみや粗大ごみ、オフィスから排出される紙くずなどである。

【上乘せ排水基準】 水質汚濁防止法(1970)では、国が全国一律の排水基準*1 を定めている。しかし、自然的・社会的条件からみて不十分であれば、都道府県は条例でこれらの基準に代えて適用するより厳しい基準を定めることができる。これを「上乘せ規制」といい、この基準値をいう。国が定めた規制基準値より厳しい基準値を定めることが狭義の上乗せ規制であるが、広義には国が定めた規制対象施設の範囲をより小規模なものにまでひろげる場合(「裾下げ」という)や、国が定めた規制項目以外の規制項目を追加する場合(「横出し」という)も含めて使われる。

※1【排水基準】環境基準*2 を満たすために個々の排出者が守るべき基準をいう。

※2【環境基準】環境基本法に基づき、大気汚染、水質汚濁、騒音、土壌汚染について、人の健康を保護し、生活環境を保全するうえで維持させられることが望ましい基準で、これらの環境上の条件は、その値以下では人間の健康や生活環境に支障を及ぼさないという科学的判断に基づいて設定されている。

【エコアクション 21】 環境省において平成8年より、中小事業者等の幅広い事業者に対して、自主的に「環境への関わりに気づき、目標を持ち、行動することができる」簡易な方法を提供する目的で、環境活動評価プログラム(エコアクション21)を策定し、その普及を進めている。環境マネジメントシステム、環境パフォーマンス評価及び環境報告をひとつに統合したものであり、エコアクション21に取り組むことにより、中小事業者でも自主的積極的な環境配慮に対する取組が展開でき、かつその取組結果を「環境活動レポート」として取りまとめて公表できるように工夫されている。平成 16 年度より認証登録制度に活用できるように改定している。

【エコ金デー運動】 香川県が推進するマイカー通勤自粛デー運動のことで、毎週金曜日が実施日となっている。通勤時のマイカー利用の自粛と公共交通機関の利用促進を図り、車と公共交通機関の共存する社会を目指すもの。

【エストロン】自然の女性ホルモンの1つです。女性の体内から尿やふん便の形で排出されるため、下水中にも含まれています。人間ではエストラジオール-17β、エストロン、エストリオールなどがエストロゲン(女性ホルモン)として確認されているが、哺乳類では卵巣や乳腺の発育を促し、二次性的性徴(乳房)を発達させ、卵巣などから分泌される女性ホルモンの総称をエストロゲンという。環境ホルモンにはエストロゲン様の作用を持つものがあるが(PCB、p-オクチルフェノール、ビスフェノールAなど)、それらもエストロゲン受容体に結合することにより同様に作用すると考えられている。なお、人体(女性)は不用のエストロゲンを不活性化してし尿として体外に排出するが、それが下水処理場で十分に分解されずに河川に放出される場合があって、そうした水系では人由来のエストロゲンが原因とみられる魚の雌化の現象が確認されている。

【えひめ AI-2】 愛媛県工業技術センターで開発され、生ゴミにふきかければ臭いニオイを抑え、排水口から流せばヌメリを抑制し、廃水を浄化する助けにもなるという酵母・乳酸菌・納豆菌を主体に発酵培養させた酵素を含む環境・人体に無害な複合微生物をいう。

【煙道排ガス】 炉またはボイラーから煙突に導く通路から発生する煙や燃焼排ガスをいう。

【塩素イオン】 塩素イオンは、海水中には約 19g/リットル、表流水中では一般に数 mg/リットル程度含まれています。海岸地帯では海水の浸透、風送塩の影響で表流水中の濃度が高くなることもある。それ以外で塩素イオンが増加した場合、家庭排水、工場排水、し尿等の混入汚染が考えられるため、人為的汚染の有無を判断する指標ともなる。

【オゾン層】 オゾンを高濃度に含んでいる地表から 20～25km の下部成層圏にある層をいう。オゾン濃度が高く、太陽から有害な紫外線を遮断する役割を果たす領域である。近年、大気中に放出されたフロンなどが、下部成層圏で 200～220nm の太陽紫外線を受けて分解し、生成した塩素酸化物(ClO_x)がオゾン層と反応してオゾンを減少させている。

【温室効果ガス】 太陽から受ける日射エネルギーは、地表面に吸収されて地表を暖め、暖められた地表からは大気中に熱エネルギー(赤外線)が放出される。その赤外線が大気中に存在する特定の微量気体に一旦吸収されることにより、大気の温度が上昇する。このような作用をする大気中の微量気体を総称して温室効果ガスと呼ぶ。温室効果ガスには二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン、六フッ化硫黄、亜酸化窒素、フロンガス等がある。

か

【快水浴場百選】 環境省が、人々が水に直接触れることができる個性ある水辺を積極的に評価し、これらの快適な水浴場を広く普及することを目的として、「美しい」、「清らか」、「安らげる」、「優しい」、「豊か」という水辺に係る新たな評価軸に基づき、全国 100 カ所の水浴場を選定したものをいう。また、このうち総合的な評価の高い12カ所の水浴場を特選として選定しました。

【海浜植物群落】 海浜に生育する植物。耐塩性・耐乾性が強い。葉は多肉質の場合が多く、根や地下茎を砂中に深くのぼす。ハマボウフウ・ハマヒルガオなど同じ場所で一緒に生育している、ひとまとまりの植物群をいう。便宜的な概念で、「植生」の単位として用いられる。

【化学物質】 環境を経由して人または動植物に有害な作用を及ぼす化学物質をさす一般的な総称である。具体的には、人の健康または動植物の生息・生育に被害を生ずるおれのある物質として大気汚染防止法、水質汚濁防止法、化学物質審査規制法、ダイオキシン類対策特別措置法などで指定されたものをいう。

【香川の水環境50選】 香川県内の優れた水環境を広く紹介することにより、各地域の保全活動を促進し、環境学習や憩いの場としての活用を図るため、平成12年12月、県が認定したものをいう。

【拡大生産者責任(EPR)Extended Producer Responsibility】 生産者が製品の生産・使用段階だけでなく、廃棄・リサイクル段階まで責任を負うという考え方。具体的には、生産者が使用済み製品を回収、リサイクルまたは廃棄し、その費用も負担すること。OECD(経済協力開発機構)が提唱した。循環型社会形成推進基本法にもこの考え方が取り入れられている。処理にかかる社会的費用を低減させるとともに、生産者が使用済み製品の処理にかかる費用をできるだけ下げようとするのがインセンティブとなって、結果的に環境的側面を配慮した製品の設計(リサイクルしやすい製品や廃棄処理の容易な製品等)に移行することに狙いがある。容器包装リサイクル法(1995)、家電リサイクル法(1998)、自動車リサイクル法(2002)、資源有効利用促進法(1991)などに定められる事業者の製品の引き取りとリサイクル義務の規定は、代表的な事例である。

【化石燃料】 石炭、石油、天然ガスなど大昔の植物や動物が化石化してできた燃料、原料源。消費により大気中の二酸化炭素濃度等の増加で地球温暖化が問題となっている。

【香の川創生事業】 香川県が実施する事業で市町、事業所及び県民等と連携して、特定の地域において、美しい郷土香川を象徴し、かつ、県民が誇りと愛着を持つことのできる水環境を保全し、創出するための

事業であって、市町の申出により県及び市町が事業所及び県民等の参画を求め、これらの者と協働して実施するものをいう。

【合併処理浄化槽】 生活雑排水とし尿を合わせて処理する浄化槽をいう。公共用水域に流れ込む汚れの量は、雑排水を未処理で放流する単独処理浄化槽と比べ8分の1に減少させる能力があり、下水道終末処理施設と同程度の処理水が望める。2001年4月の環境省「浄化槽法」の改正により単独処理浄化槽の新設が禁止されている。

【環境騒音】 ある地点において、特定の音源がはっきりわかる騒音だけでなく、不特定多数の騒音が混じっている騒音。例えば、住宅地における遠方及び近くの自動車や工場の音、楽器音などが一緒になっている音をいう。

【環境にやさしい事業所登録制度】 丸亀市が実施する制度で、事業所が自主的に環境に配慮した事業活動に取り組むことを促進するためのもの。対象は市内の事業所で、「エコ・ハートまるがめ」か「エコ・リーダーまるがめ」を選択して登録する。

「エコ・ハートまるがめ」は、目標を3つ以上定め、身近なことから環境保全に取り組むもの。

「エコ・リーダーまるがめ」は、数値目標を3つ以上定め、事業活動が環境に与える影響などの把握を行ったうえで、率先して環境負荷の低減に努めるもの。

【環境物品等】 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(第2条)に定める次の各号のいずれかに該当する物品又は役務をいう。

① 再生資源その他の環境への負荷の低減に資する原材料又は部品。

② 環境への負荷の低減に資する原材料又は部品を利用していること、使用に伴い排出される温室効果ガス等による環境への負荷が少ないこと、使用後にその全部又は一部の再使用又は再生利用がしやすいことにより廃棄物の発生を抑制することができることその他の事由により、環境への負荷の低減に資する製品。

③ 環境への負荷の低減に資する製品を用いて提供される等環境への負荷の低減に資する役務。

【環境への負荷】 人間の活動が環境に与える悪影響。「環境基本法」第2条第1項において、「環境への負荷」とは、人の活動により環境に与えられる影響であって、環境の保全上の支障の原因となるおそれのあるものと定義されている。汚染物質等が排出されることによるもの以外にも、動植物等の自然物が損なわれることによるもの、自然の景観が変更されることによるもの、また、二酸化炭素のように徐々に蓄積して支障を招く可能性のあるものも含まれている。

【環境マネジメントシステム】 環境マネジメントシステムとは、企業等の事業組織が法令等の規制基準を遵守することにとどまらず、自主的・積極的に環境保全のためにとる行動を計画・実行・評価することをいう。そのため、①環境保全に関する方針、目標、計画等を定め、②これを実行、記録し、③その実行状況を点検して方針等を見直す一連の手続きを「環境マネジメントシステム」という。また、こうした一連のシステムの中で、自主的な環境管理に関する計画等の点検作業が「環境監査」と呼ばれる。なお、このシステムの標準的な仕様が国際標準化機構(ISO)の国際規格(ISO14000シリーズ)として、1996年9月1日に正式に発行され、それを受けて、我が国でも10月20日にJIS化された。

【環境ホルモン】 正式には外因性内分泌攪乱化学物質という。内分泌攪乱物質などと省略することも多い。環境中にある物質が体内に取り込まれ、ホルモン作用を乱す(攪乱する)という意味で、環境ホルモンと通称される。

【協働】 まちづくりや環境に関する協力体制を示す言葉で、ここでは市民・事業者・市が、環境改善についてともに考え、ともに取り組みを進めていくことを表す。パートナーシップともいう。

【クリーンエネルギー】 大気汚染物質を発生しないエネルギー。太陽光・風力・太陽熱などをさす。

【グリーン購入】 購入の必要性を十分に考慮し、品質や価格だけでなく環境のことを考え、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入すること。グリーン

購入は、消費生活など購入者自身の活動を環境にやさしいものにするだけでなく、供給側の企業に環境負荷の少ない製品の開発を促すことで、経済活動全体を変えていく可能性を持つ。

【グリーン・ツーリズム】 農山村地域に滞在し、農業体験などを通して、その地域の自然、文化、人々との交流を楽しむ余暇活動のこと。他に漁村地域での「ブルー・ツーリズム」などもある。

【クリーン・リバーKaNaKuRa 推進会議】 金倉川流域の2市2町(丸亀市、善通寺市、琴平町、まんのう町)によって平成11年11月に設立された組織。活動として、行政、事業者、住民の協働で金倉川の一斉清掃により、環境美化の推進に取り組んでいる。また、金倉川への不法投棄の防止の啓発活動、環境パトロールなどを実施している。

【蛍光X線法】 蛍光X線とは、元素に特有の一定以上のエネルギーをもつX線を照射することによって、その物質を構成する原子の内殻の電子が励起されて生じた空孔に、外殻の電子が遷移する際に放出されるX線である。その波長は内殻と外殻のエネルギー差に対応する。内殻・外殻のエネルギー差は元素ごとに固有であるので、蛍光X線のエネルギーも元素に固有である。このことから、蛍光X線のエネルギーを実験的に求めることにより、測定試料を構成する元素の分析を行うことができる。あるいはその強度を測定することにより測定試料中の目的元素の濃度を求めることができる。このような元素分析の手法をいう。

【公害防止協定】 地方公共団体と企業の間で交わした公害防止に関する約束。住民団体が関与するものもある。工場の新規立地、施設の増設などを契機に大規模な企業との間に結ばれるものが多い。法律の規制にとらわれず、対象項目、適用技術などを地域の実情に合った形で盛り込んでおり、企業側の遵守状況も良好なことから、日本の産業公害の改善に大きく貢献したとの評価もある。

【光化学オキシダント】 大気中の窒素酸化物や炭化水素が、太陽光線によって複雑な光化学反応を起してつくられるオゾン、PAN(パーオキシアセチルナイトレート)などの酸化性物質の総称を光化学オキシダントといい、光化学オキシダントによる大気汚染を光化学スモッグという。特に夏期、日ざしが強く、温度が高く、風の弱い日に発生しやすく、その影響は、目がチカチカする、ノドが痛くなるなどの人的影響のほか、視覚障害、植物の葉の組織を破壊するなど広域にわたる。

【降下ばいじん】 大気中に排出されたばいじん*1 や風により地表から舞い上がった粉じんなどのうち、比較的粒径が大きく重いために大気中で浮かんでいられずに落下(降下)するもの、あるいは雨や雪などに取り込まれて降下するものをいう

※1【ばいじん】燃料その他の物の燃焼または熱源として電気の使用に伴い発生するすすや固体粒子をいう。

【公共用水域】 川、湖沼、港湾、沿岸海域、その他の公共に供される水域と、これに接続する公共暗渠、かんがい用水路、その他公共に供される水路をいう。

さ

【ザルツマン試薬による吸光光度法】 吸光光度法とは、光の吸収度合いを比較測定するものである。二酸化窒素を測定する場合は、ザルツマン試薬*1との反応によって生じたアゾ色素の吸光度を測定し濃度を求める。

※1【ザルツマン試薬】二酸化窒素により赤く呈色する。吸光光度法により、大気中の二酸化窒素濃度を測定するのに使用される。

【さわやかロード】 地域の皆さんと香川県が協力して道路の清掃・緑化などを行っていき取り組みをいう。

【酸性雨】石炭や石油などの化石燃料の燃焼などに伴って、大気中に放出された硫黄酸化物や窒素酸化物などが雲に取り込まれ、複雑な化学反応を繰り返して、最終的には、硫酸イオン、硝酸イオンなどに変化し、酸性(PH5.6 以下)の雨となる現象をいう。

【市街化区域】市街地を形成している区域及びおおむね10年以内に優先的、計画的に市街化を図るべき区域。また、都市計画区域のうち、既に市街地になっている区域や公共施設を整備したり面的な整備を行うことにより積極的に市街地をつくっていく区域。用途地域の指定を行い土地利用を規制することによって、良好な都市環境の市街地の形成を目的とする。

【COD】(Chemical Oxygen Demand; 化学的酸素要求量)とは、水中の有機物を酸化剤によって酸化する際に消費する酸素量であり、代表的な海域と湖沼の水質指標として用いられている。値が高いほど有機物等が多量に含まれており、汚濁度が高いことを示す。

【ジクロロメタン】有機塩素系溶剤の一種。洗浄剤・溶剤として優れている反面、環境中に排出されても安定で、地下水汚染の原因物質の一つとなっている。

【四国のみずべ八十八カ所】「霊場八十八カ所」のように四国の特性を活かし21世紀に残したい魅力あるみずべ空間、地域が誇ることのできるみずべ空間の創出をメインテーマとして、魅力あるみずべを核とした地域の活性化・振興・発展・創出を目指して、「認知度を高める活動」と「地域活性化に資する活動」に取り組むために、平成15年2月に選定したものをいう。

【史跡】歴史上重要な事件や施設などのあった場所をいう。

【指標生物】河川の水質を調べるなど様々な環境条件を調べる際に、そこに生息する生物のうち、ある条件に敏感な生物を用いて調べる場合の、その生物のことをいう。

【社叢】神社の森のことで、神社の境内を取り囲んでいる樹林。昔から伐採や開発をあまり受けていないため、自然の形を留めているものもある。

【重要伝統的建造物群保存地区】文化財保護法第 144 条に基づき、市町村が条例等により決定した「伝統的建造物群保存地区*1」のうち、特に価値が高いものとして国(文部科学大臣)が選定したものをいう。

※1【伝統的建造物群保存地区】=「伝統的建造物群*2」及びこれと一体をなしてその価値を形成をしている環境を保存するため、市町村が都市計画又は条例で定める地区をいう。

※2【伝統的建造物群】=周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群で価値の高いものをいう。

【循環型社会】環境への負荷の低減を図るために、資源やエネルギーのリサイクルやリユースに配慮したシステムを有する社会をいう。例えば、雨水の地中涵養や中水利用などの水の循環への配慮、生ゴミの堆肥化、古紙や缶のリサイクルなど資源の循環などの仕組みや設備を備えたり、大気の循環を促す風の通り道や緑地の配置に配慮した都市構造を有する社会をいう。

【指定施設】一般に公害対策、環境対策のために発生源に対してある種の規制を行う場合、その対象となる発生源・施設は限定され明示されることとなる。さらに、騒音が発生する恐れのある施設を条例で規定したこれらの施設を「指定施設」と呼ぶ。条例では、金属加工機械、空気圧縮機等の13種類の施設が、また、振動規制法では、金属加工機械、破碎機等の10種類に施設が指定されている。

【自浄機能】汚染水が河川その他に流入すると、汚染水中の有機物質は、微生物などの作用をうけて分解される。

【硝酸】無色で刺激臭のある液体。化学式 HNO_3 アンモニアの酸化によって得る。空気中では発煙する。水と任意の割合で混ざり、水溶液は酸性。普通、硝酸といえば水溶液をさし、市販品は約 69 パーセントの水溶液。酸化作用が強く、銀・銅・水銀などを溶かす。合成化学の重要原料で、硝酸エステルやニトロ化合物をつくる。

【硝酸イオン】硝酸は、硝酸(HNO_3)およびその水溶液を指しますが、硝酸イオンは NO_3^- のみを指し、窒素化合物の一種です。この窒素化合物の元となっているのは、主に、下水、し尿、工場廃水などに由来

するタンパク質や有機窒素化合物などです。したがって、窒素化合物の量は地下水の人為的汚染を示す有力な指標と言えます。

【**食物連鎖**】 生物群集内での生物の捕食(食べる)・被食(食べられる)という点に着目し、それぞれの生物群集における生物種間の関係を表す概念をいう。

【**親水空間**】 水辺において川の水と接するなど、川が身近になり憩える空間をいう。

【**人工護岸**】 土砂で構成されている堤防や河岸を流水の浸食から防護するために設置される構造物で、コンクリートや石積などでつくられる。

【**ストレーナー**】 液体中の固形分を網や格子などで分離する装置。流しの排水口についている網目になったバケツ型の受け皿。

【**スチレン**】 ビニルベンゼン、フェニルエチレンともいう。用途はポリスチレン樹脂、ABS樹脂のなどの原料。スチレンの重合反応が不完全であると副生成物として2量体・3量体が生ずるが、このスチレンの2量体・3量体が環境ホルモンの疑いがあると指摘された。平成12年1月には通商産業省(当時)の化学品審議会が文献調査等を踏まえ「スチレンダイマーおよびトリマーの内分泌かく乱作用について評価を行うための各種スクリーニング試験は既に実施されており、いずれもホルモン様活性を有しないことから、特別な試験の実施は必要ない」との報告を行っている。

【**3R スリーアール**】 リデュース、リユース、リサイクルともいう。また、リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル、をあわせて「4R」ともいう。

・リフューズ(refuse): 断る、という意味から、ごみになるものを買わないこと。

・リデュース(reduce): 減少する、下げるという意味から、ごみの発生源となる行動を抑制し、根本からごみの減量をすること。

・リユース(reuse): 再び利用すること、再利用を意味することから、製品をそのまま、もしくは修理するなどして再び使用すること。

・リサイクル(recycle): 再循環させること、再生利用するという意味から、もう一度資源として利用し再生して使用することを意味する。

【**生活環境項目**】 環境基本法(1993)に基づいて定められている水質の環境基準のひとつ。水質環境基準には、人の健康の保護に関する基準(健康項目)と生活環境の保全に関する基準(生活環境項目)の2つがある。健康項目は全国一律の基準であるが、生活環境項目については、河川、湖沼、海域の各公共用水域について、水道、水産、工業用水、農業用水、水浴などの利用目的に応じて設けられたいくつかの水域類型ごとに基準値が定められており、具体的な水域への類型あてはめは都道府県知事が決定する仕組みになっている(類型あてはめ)。生活環境を保全するうえで維持することが望ましい基準として具体的には、pH、BOD、COD、SS、DO、ノルマルヘキササン抽出物質、大腸菌群数、全窒素、全リン等の基準値が設定されている。

【**生産緑地**】 生産緑地法によって規定されており、市街化区域内の土地のうち、一定の要件を満たす土地の指定制度(生産緑地地区制度)に沿って管轄自治体より指定された土地または森林のことで、都市計画上、農林漁業との調和を図ることを主目的とした地域地区のひとつである。

【**節水コマ**】 上水道の蛇口内部に取り付けるゴム製又は樹脂製のコマのこと。節水コマは、通常のコマの中央部に突起が付いた形状となっており、突起が流出しようとする水流を阻害し、半開時の流出量を5~10%程度抑える。食器洗い時など、水道を流しっぱなしにする際の水量を抑えることができ、省資源効果が出る。

【**全国星空継続観察**】:スターウォッチングネットワーク 肉眼や双眼鏡等を使った身近な方法によって星空を観測し、参加者が「光害」や大気環境問題への関心を高めることを目的に、1998年より、環境省が、毎年夏と冬に全国の一般市民や子供等に呼びかけて実施している事業のことをいう。

【**騒音**】 望ましくない音です。例えば音声、音楽などの伝達を妨害したり耳に苦痛、障害を与えたりする音のことである。

【**総量規制基準**】 大気汚染や水質汚濁の防止を図るため、工場・事業場が集合し、汚染物質の発生施設ごとの排出規制では環境基準の確保が困難である場合に、地域全体の排出総量を削減するために

用いられる規制手法。地域を指定し、総量削減計画に基づいて、個々の発生施設ごとの排出基準*1よりも厳しい基準をいう。

*1【排出基準】大気汚染防止法において工場などに設置されるばい煙発生施設で発生し、排出口から大気中に排出されるばい煙の量の許容限度をいう。

た

【**ダイオキシン類**】ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン(PCDD)、ポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)、ポリ塩化ビフェニル(DL-PCB)の総称。塩素を含むものを焼却する過程などで生成され、環境中にも極微量ではあるが存在している。毒性が懸念されているが、日本における日常生活の中で摂取する量では、発がん等の危険性が生じるレベルではないとされている。

【**ダイオキシン様 PCB:DL-PCB**】狭義のダイオキシン(PCDD)と似た構造を持つ物質で、ダイオキシン類のひとつ。PCBは、基本骨格であるビフェニル基に置換する塩素の位置によって2つのベンゼン環が同一平面上になり扁平構造をとることがある。構造的にダイオキシン(PCDD)やポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)に類似し、その他のPCBよりも強い毒性を示す。PCBは、熱安定性、電気絶縁性に優れ、トランス、コンデンサー、熱媒体、ノーカーボン紙に用いられてきたが、難分解で生体に蓄積し、毒性を示すことから、現在は製造・輸入が禁止されている。

【**大腸菌群数**】腸内細菌に属するグループの総称で、一種類のものではなくいくつかの種類が含まれる。大腸菌群の数が多いということは、人畜のし尿などで汚染されている可能性を示している。

【**太陽光発電システム**】シリコン半導体などに光が当たると電気が発生する現象を利用し、太陽の光エネルギーを直接電気に変換する発電方法。太陽の光を受けた太陽電池は、直流の電気を発生し、それを変換器で交流の電気に変換することにより、商用電力(電力会社から買う電気)と同様に、家庭などで使用することができるようにするシステム。地球環境保全・資源保護の観点から、太陽光発電は、クリーンなエネルギーとして、導入を積極的に進めていくことが求められている。

【**ダストジャー法**】降下ばいじんの測定方法の一つであり、屋外に設置したポリエチレンなどの円筒容器(ダストジャー)により1ヵ月(30日)を単位として降下ばいじんを捕集して、ろ過により溶解・不溶解とに分離させ、乾燥後に重量を測定を行う方法をいう。

【**多様な植生**】多くの植物によって構成されている色々な形の植物集団を便宜上表したもの。

【**単独処理浄化槽**】生活排水の処理において、し尿のみを処理する処理装置のことをいう。汲み取り便所が不衛生で悪臭の原因になることから、日本独自の排水処理装置として1970年代より急速に普及した。2001年4月からは、浄化槽法(1983)で単独式浄化槽の規定が削除され、新設のものは造られなくなった。

【**短期的評価**】二酸化硫黄(SO₂)、浮遊粒子状物質(SPM)及び一酸化炭素(CO)の3物質に関する環境基準の評価方法の一つです。1年間で得られたすべての1時間値、日平均値あるいは8時間平均値が、環境庁告示で定められている環境基準を満足しているか否かを判定する評価方法である。

【**ダンボールコンポスト**】家庭から出る生ごみを、ピートモス等の基材とともにダンボール箱に入れ、その中で減量・堆肥化を行うもの。庭などに設置する生ごみ堆肥化容器と比べて、①屋内や、庭のない集合住宅のベランダ等でも使用可能。②容器として使用するダンボールが安価かつ入手が容易。③堆肥化に必要とされる保温性と余剰水分を壁面から排出できる水分調整機能を持ち、経済面と機能面で優れる。等の特徴がある。丸亀市では生ごみの減量化を促進するために補助制度を設けています

【**TEA簡易測定**】:TEAプレート法 この方法は、トリエタノールアミン含浸る紙を装着した捕集装置をシェルターに入れて保護し、1ヵ月間大気中に暴露し、その吸着剤から二酸化窒素を溶出して、ザルツマン試薬で発色させることによって二酸化窒素量を求める簡易な測定方法である。

【**DO**】水中にとけている酸素(分子状)をいいます。溶存酸素の量は、水温や気圧などの影響を受け、20°C 101.3kPa(気圧)の飽和溶存酸素量は約9mg/lである。

【地球温暖化】 大気中には地球から放出される熱を逃がしにくい二酸化炭素、メタン、フロン、亜酸化窒素、一酸化二窒素などの温室効果ガスが含まれている。この温室効果ガスが増えず、宇宙空間へ放出される熱が地表面に戻され、地上の気温が上昇する現象をいう。

【地球環境問題】 人類の将来にとっての大きな脅威となってきた地球規模における環境問題。地球環境問題として現在認識され、かつ組織がなされているのは、次の9つの問題である。

①地球の温暖化 ②オゾン層の破壊 ③酸性雨 ④海洋汚染 ⑤森林破壊 ⑥野生生物種の減少 ⑦砂漠 ⑧有害廃棄物の越境移動 ⑨ 発展途上国等の公害 それぞれの問題は、因果関係が相互に複雑に絡み合っている。例えば、オゾン層破壊効果の高いフロン(クロロフルオロカーボン)の代わりに開発された代替フロン(ハイドロフルオロカーボン)は地球温暖化をもたらす温室効果ガスであり、森林の破壊は、二酸化炭素の吸収減の減少を通じて地球温暖化を加速する一方、野生生物種の減少の最大の要因でもある。これらの問題は、現在の特に先進国での大量生産、大量消費、大量廃棄といった経済社会活動や個人のライフスタイルのあり方、さらには、人類のこれまでの技術文明の責任を問うような内容を含んでいるといえる。

【窒素】 無色無臭の気体で大気中の成分の約80%を占める。水質汚濁対策で使用されている総窒素は窒素化合物全体のことだが、溶存窒素ガス(N₂)は含まれない。窒素は動植物の増殖に欠かせない元素だが、富栄養化になりプランクトンの異常増殖の要因となり赤潮等が発生する。

【長期的評価】 二酸化硫黄(SO₂)、浮遊粒子状物質(SPM)及び一酸化炭素(CO)の3物質について、1年間の測定結果が環境基準に適合したかどうかを判断する際に用いられる評価方法です。ある地点における大気汚染物質の測定結果が環境基準に適合しているかどうかを判断する際は、4月から翌年3月までの1年間で得られたすべての測定値(これら3物質の場合は日平均値)を用いて評価します。

【テトラクロロエチレン】 有機塩素系溶剤の一種。俗称として「パークレン」とも呼ばれる。無色透明の液体でエーテル様の臭いを有し、揮発性、不燃性、水に難溶ドライクリーニングのシミ抜き、金属・機械等の脱脂洗浄剤等に用いられるなど洗浄剤・溶剤として優れている反面、環境中に排出されても安定で、トリクロロエチレンなどととも地下水汚染などの原因物質となっている。急性毒性は目、鼻、のどなど皮膚・粘膜への刺激、麻酔作用が主で、手の痺れ、頭痛、記憶障害、肝機能障害等の症状が、また慢性毒性は、神経系への影響や、肝・腎障害等の報告がある。

【テレメーター】 tele(遠い)と meter(計量器)を一緒にした合成語で、遠方の測定数値を無線または有線で送受信し、短時間に収集する装置である。大気汚染の観測など広く使われている。

【天然記念物】 学術上価値の高い動物・植物・地質鉱物、およびそれらの存在する地域で、その保護・保存を指定されているもの。

【電気伝導度】 物質の電流の流れのしやすさを表し、物質が持っている性質をある尺度で表したものである。

【等価騒音レベル】 観測時間のあいだの騒音エネルギーを観測時間で平均したレベル。単発現象の繰り返しの時には個々の単発騒音暴露レベルをパワー合成して観測時間で平均したレベルに等しい。原理的には観測時間[t₁,t₂]の等価騒音レベルは時々刻々のA特性音圧の二乗を積分し、平均する次式で定義される。

$$L_{Aeq} = 10 \log_{10} \left[\frac{1}{T} \int_{t_1}^{t_2} \frac{P_A^2(t)}{P_0^2} dt \right]$$

【登録文化財】 登録文化財は、都市化等で社会的評価を受けることなく取り壊されてしまう建物を、後世に残そうという制度で、50年以上経過した特色のある建物が対象となっており、国宝や重要文化財などの指定文化財と違い、外観が大きく変わらない限り、内部の改装や活用も認められる。

【特定建設作業】 騒音規制法(1968)及び振動規制法(1976)に基づいて指定された、著しい騒音や振動を発生する建設作業をいう。騒音規制法では、くい打ち機や削岩機等を使用する作業等の8種類の作業が、また、振動規制法では、くい打ち機、ブレーカーを使用する作業等の4種類の作業が指定されている。騒音規制法や振動規制法に基づき指定された指定地域内では、このような作業を含む建設工事を実施する場合には事前に市町村長に届出が必要となるなどの規制がなされている。

【**特定施設**】 一般に公害対策、環境対策のために発生源に対してある種の規制を行う場合、その対象となる発生源・施設は限定され明示されることとなる。法令上、これらの施設を「特定施設」と呼ぶことが多い。騒音規制法(1968)及び振動規制法(1976)の例では、著しい騒音や振動を発生する施設が特定施設として指定されている。騒音規制法では、金属加工機械、空気圧縮機等の11種類の施設が、また、振動規制法では、金属加工機械、破碎機等の10種類に施設が指定されている。

【**都市景観**】 まちの建物などの構成物がつくるけしき、ながめ、また、その美しさ。「景観」は人間が視覚で捉えた事物を客観的・科学的に捉えた場合に使われることが多い。

【**土壌粒子**】 陸地の表面を覆っている生物活動の影響を受けた物質層で、岩石が風化して生成した粗粒の無機物や粘土鉱物などの無機物などを含む。土壌を、構成成分である粒子の大きさによって定義する場合には、特性長が2mm未満の粒子のみを土壌と定義する。

【**トリクロロエチレン**】 有機塩素系溶剤の一種。俗称としてトリクレンと呼ばれることもある。無色透明の液体でクロロホルムに似た臭いを有し、揮発性、不燃性、水に難溶。ドライクリーニングのシミ抜き、金属・機械等の脱脂洗浄剤等に用いられるなど洗浄剤・溶剤として優れている反面、環境中に排出されても安定で、テトラクロロエチレンなどとともに地下水汚染の原因物質となっている。急性毒性は皮膚・粘膜に対する刺激作用で、目の刺激、眠気、頭痛、倦怠感とともに、認知能力、行動能力の低下など。日本でも高濃度暴露による死亡事例が労働災害として報告されている。

な

【**二酸化硫黄**】 腐敗した卵に似た刺激臭のある無色の気体。不純物として石炭中に最大 2.5%程度、原油中に最大 3%程度含まれる硫黄の酸化によって、石炭や石油などの燃焼時に発生する。また鉄鉱石、銅鉱石にも硫黄が含まれるため、製鉄、銅精錬工程からも排出する。主要大気汚染物質のひとつとして、また窒素酸化物*1とともに酸性雨の原因物質として知られる。二酸化硫黄による汚染大気は呼吸器を刺激し、せき、ぜんそく、気管支炎などの障害を引き起こすといわれている。

※1【**窒素酸化物**】一酸化窒素(NO)と二酸化窒素(NO₂)を主体とした物質である。窒素酸化物は主として重油、ガソリン、石炭などの燃料の燃焼によって発生する。主要な発生源は、工場・事業場のボイラー等の固定発生源や自動車などに代表される移動発生源である。また、窒素酸化物は光化学オキシダントの原因物質のひとつであるといわれている。固定発生源の窒素酸化物の低減対策としては、燃焼改善や燃料改善によって抑制する方法と燃焼排出ガス中の窒素酸化物を減少処理する排煙脱硝の方法がある。

【**二酸化窒素(NO₂)**】 主に化石燃料の燃焼に伴って発生し、その発生源としては工場のボイラーなどの固定発生源や自動車などの移動発生源がある。NO₂は、酸性雨や光化学オキシダントの原因物質になるばかりでなく、高濃度で呼吸器に好ましくない影響を与える。

【**2%除外値**】 1年間のうちで濃度が高かった日の濃度レベルがどの程度であったかを表す統計指標の一つです。2%除外値は、1年間に測定された欠測日を除くすべての日平均値を、1年間での最高値を第1番目として、値の高い方から低い方に順(降順)に並べたとき、高い方(最高値)から数えて2%目に該当する日平均値です。

【**日本の水浴場 88 選**】 環境省が水質が良好で快適な水浴場を広く普及することを目的とし、都道府県から推薦のあった 146 の水浴場について、「水質、自然環境・景観」「環境への配慮・取組の評価」「安全性」「利便性」等の基準に照らして、特に優れた全国 88 か所の水浴場を平成 13 年に選定したものをいう。

【**農業集落排水施設**】 農業集落における農業用排水の水質保全及び生活環境の改善のために、農業振興地域等内の農業集落を対象として、市町や土地改良区などが整備する生活排水処理施設をいう。

【**ノニルフェノール**】 プロピレンの 3 重合体(ノネン)とフェノールの反応により工業的に合成されるもの。ノニルフェノールエトキシレートは非イオン系界面活性剤であり、その用途は工業用の洗浄剤、分散剤としてゴム・プラスチック・繊維工業、機械・金属工業、農業工業などで使われている。ノニルフェノールエトキシレートは、アルキルフェノールエトキシレートの生産量の約 80%を占め、最も生産量が多い。環境水中で微生物分解され、ノニルフェノールが生成することが知られている。

は

【ばい煙】 一般的には、燃料の燃焼などによって発生し、排出される「すす」と「煙」という意味合いであるが、大気汚染防止法(1968)では、「硫黄酸化物」、「ばいじん」、「有害物質」と定義している。

【排煙脱硫装置等排ガス浄化装置】 重油や石炭等の硫黄を含む化石燃料を燃焼させると硫黄分は酸化され、硫黄酸化物(SO_x)となる。この硫黄酸化物を含む燃焼排ガスをそのまま大気中に放出すると環境汚染が発生するため、排ガスから硫黄酸化物を取り除く必要があり、そのために使用される装置をいう。

【パートナーシップ】 市民、企業、NPO、行政など、立場の異なる組織や人同士が、明確な目的のもとに、対等な関係を結び、それぞれの得意分野を生かしながら、連携し協力して環境保全に取り組むこと。

【バリアフリー】 高齢者や障害者が安全、快適に住めるよう、床の段差をなくしたり、廊下や浴室、階段に手すりをつけたりするなど建築上の障害を取り除くこと。高齢者も障害者も、社会を構成する一員として個々の能力に応じた役割を担いながら、共に生きる社会の実現をめざすため、高齢者・障害者を取り巻く物理的環境や社会的偏見などのバリア(障壁)を除去して、社会参加の可能性を高めようという考え方をいう。

しかし、最近では、能力あるいは障害のレベルにかかわらず、ほとんどの人が利用できるように製品、建物、空間をデザインすることを意味する『ユニバーサル・デザイン』という考え方が提唱されている。

【BOD】(Biochemical Oxygen Demand; 生物化学的酸素要求量)とは、水中の有機物を好気性バクテリアが酸化分解するのに要する酸素量であり、代表的な河川の水質指標として用いられる。値が高いほど有機物等が多量に含まれており、汚濁度が高いことを示す。

【非メタン炭化水素】 メタン以外の炭化水素(脂肪族飽和炭化水素、不飽和炭化水素、芳香族炭化水素)の総称。光化学オキシダントの原因物質として古くから対策が進められてきた。NMHC(Non-Methane hydrocarbons)と記すこともある。メタンは光化学的に活性が低いため、光化学オキシダント対策で大気汚染を論じる場合には、このようにメタンを除外した指標が使用される。NMHC規制は、自動車に対しては48年規制(1973)当時から対象物質として含まれていたが、塗装、印刷工場などの固定発生源に対しては、2004年5月の大気汚染防止法の改正により、はじめて法律による対策が開始された。

【浮遊粒子状物質:Suspended particulate matter】 SPMと略称され、直径10 μ m(1マイクロメートル=1/1000mm)以下の空気中に浮かぶ微粒子。環境基本法(1993)に基づいて定められる環境基準では、粒径10 μ m以下のものと定義している。発生源は工場のばい煙、自動車排出ガスなどの人の活動に伴うもののほか、自然界由来(火山、森林火災など)のものがある。有害大気汚染物質の一つであり、浮遊粒子状物質は人体の肺に達し、じん肺やぜんそくなどの悪影響を及ぼす。SPMの代表的なものがディーゼル排気粒子である。

【ppm】 Parts Per millionの略で百万分率のことをいい、微量のものの含有率を示すのに用いられます。水質汚濁では1L中に1mgの汚濁物質が存在する場合の濃度を1mg/Lで示し、大気汚染では1m³の大気中に1cm³の汚染物質濃度を1ppmで示します。

【pH】 pH=7で中性、pH<7で酸性、pH>7でアルカリ性です。特殊な例(温水など)を除いて、河川水などの表流水は中性付近のpH値を示します。

【保存樹木・保存樹林】 都市の美観風致を維持するため、「丸亀市都市景観条例」に基づき、樹木の保存に関し必要な事項を定め、都市の健全な環境の維持及び向上に寄与することを目的とし、所有者等の同意を得て、市が指定している樹木をいう。また、保存中の集団を保存樹林という。

【ビスフェノールA】 化学名は2, 2-bis(4-hydroxyphenyl) propane。主な用途はポリカーボネート樹脂、エポキシ樹脂の原料で、その他に殺菌剤、酸化防止剤、塩ビ安定剤、フェノキシ樹脂、ポリエステル樹脂、ポリスルホン樹脂などに用いられる。ビスフェノールAは、ポリマーの重合が不完全であったり、樹脂製品に熱をかけると溶出したりすることが知られ、また環境ホルモンの疑いが指摘されたことからその安全性が問題となった。なお、平成11年度～14年度の環境省環境ホルモン実態調査において、ビスフェノールAは河川の水質・底質および大気から検出されており、特に河川の水質からの検出頻度が高い。

【**フタル酸エステル**】モノエステルとジエステルがあるが、産業的に重要なのは可塑剤として用いられるジエステルである。ジエステルは、工業的には無水フタル酸とアルコールを反応させて合成され、フタル酸エステルには、フタル酸ジエチル、フタル酸ジイソノル(DINP)、フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)(DEHP)などの種類がある。

【**フロン**】正式には「クロロフルオロカーボン」といい、炭化水素にフッ素と塩素が結合した化合物の総称である。極めて安定な物質で、洗剤、冷媒、発泡剤等に広く用いられている。オゾン層の破壊との関連が指摘され、世界的に全廃の方向に向かっている。

【**フロンガス**】正式にはクロロフルオロカーボンといい、塩素を含む炭素とフッ素の化合物です。無毒性、不燃性、化学的安定性といった優れた性質をもっており、それによって空調機器や冷蔵庫・冷凍庫などの冷媒として広く一般的に使用されています。ほとんどの種類のフロンは、普通の環境では分解されず大気中に留まるが、長い時間かけて成層圏まで上昇し、そこで強い紫外線により分解されて塩素を放出する。この塩素が次々とオゾン分子を分解し、オゾン層を破壊する。

【**粉じん**】粉じんは物の破碎、選別その他の機械的処理または堆積に伴い発生し、又は飛散する比較的大きい粒子状の物質です。①コークス炉、②鉱物や土砂などの堆積場、③ベルトコンベアやバスケットコンベア、④破碎機や摩砕機、⑤ふるいなどから発生する。

【**ベンゼン**】水に溶けにくく、各種溶剤と混合しよく溶ける。化学式は C_6H_6 、分子量は 78.11、融点は $5.5^{\circ}C$ 、沸点は $80.1^{\circ}C$ 。常温常圧のもとでは無色透明の液体で独特の臭いがあり、揮発性、引火性が高い。かつては工業用の有機溶剤として用いられたが、現在は他の溶剤に替わられている。大気中の環境基準は、白血病に対する疫学的な証拠があること、そのことについて閾値がないとされていることなどから、年平均値が $0.003mg/m^3$ 以下であることと定められている。自動車用のガソリンに含まれ、自動車排出ガスからも検出される。

【**ボカシ**】発酵合成型有機肥料のこと。米ぬか・もみがらにEM※と糖蜜を混合し、発酵・乾燥させたものをいう。

※【EM】:有用微生物群。自然界に存在する微生物で環境や生物に有用な働きをする、乳酸菌・酵母菌・光合成細菌・放線菌などを選んだ培養液をいう。

【**保存樹木・保存樹林**】都市の美観風致を維持するため、「丸亀市景観条例」に基づき、樹木の保存に関し必要な事項を定め、都市の健全な環境の維持及び向上に寄与することを目的とし、所有者等の同意を得て、市が指定している樹木をいう。また、巨樹が多く発達した樹林で市が指定している樹林を保存樹林という。

【**保存木**】鎮守の森の木や校庭にそびえ立つイチヨウの大木など、地域の日印やシンボルであったり、ふるさとの景観に欠かせない貴重な存在であったりする。郷土の景観や地域のシンボルとして重要な役割をもつ樹木を指定し、所有者など地域の人々の協力を得ながら大切に保存しているものをいう。

【**ポリ塩化ジベンゾフラン:PCDF**】狭義の「ダイオキシン」である、ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン(PCDD)と似た構造・毒性を持つ物質で、ダイオキシン類のひとつ。平面構造を持つ芳香族有機塩素化合物で、置換した塩素の数や位置によって、多数の構造異性体が存在する。特に、2・3・7・8位が塩素で置換した異性体の毒性が高いことが知られている。塩素を含む有機化合物等を焼却するときに非意図的に発生し、焼却場等の周辺に排出されるなど社会問題化してきた。

【**ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン:PCDD**】有機塩素化合物の一種で、略してダイオキシンとも呼ばれる。PCDD、PCDF および Co-PCB の 3 種類の化合物は類似の物理化学的性質と生物化学的作用をもつことが知られていて特に PCDD の 2・3・7・8 位が塩素で置換した異性体 2, 3, 7, 8-四塩化ジオキシン(2, 3, 7, 8-TCDD)がもっとも毒性が強いといわれる。PCDD は、ベトナム戦争で枯れ葉剤として使われた 2,4,5-T(2,4,5-トリクロロフェノキシ酢酸)や除草剤・防腐剤として使われる PCP(ペンタクロロフェノール)に不純物として含まれて問題となった。また、ごみ焼却施設からは PCDD と PCDF が発生する。

ま

【水質汚濁】 公共用水域(河川・湖沼・港湾・沿岸水域など)の水の状態が、主に人の活動(工場や事業所などにおける産業活動や、家庭での日常生活など)によって損なわれる事やその状態をいう。

【名勝】 景色のよいことで知られている土地をいう。

や

【有害大気汚染物質】 継続的に摂取される場合には人の健康を損なうおそれがある物質で大気汚染の原因となるもの(ばいじん以外のばい煙及び特定粉じんを除く)のこと。有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質として234物質が示されており、このうち22物質が優先取組物質として指定され、モニタリング調査等を行うこととされている。さらにベンゼン*1、トリクロロエチレン*2、テトラクロロエチレン*3、ジクロロメタン*4 およびダイオキシン類*5 の5物質は排出又は飛散を早急に抑制しなければならないものであると指定され環境基準が定められている。

※1【ベンゼン】水に溶けにくく、各種溶剤と混合しよく溶ける。化学式は C_6H_6 、分子量は 78.11、融点は $5.5^{\circ}C$ 、沸点は $80.1^{\circ}C$ 。常温常圧のもとでは無色透明の液体で独特の臭いがあり、揮発性、引火性が高い。かつては工業用の有機溶剤として用いられたが、現在は他の溶剤に替わられている。大気中の環境基準は、白血病に対する疫学的な証拠があること、そのことについて閾値がないとされていることなどから、年平均値が $0.003mg/m^3$ 以下であることと定められている。自動車用のガソリンに含まれ、自動車排出ガスからも検出される。

※2【トリクロロエチレン】有機塩素系溶剤の一種。俗称としてトリクレンと呼ばれることもある。無色透明の液体でクロロホルムに似た臭いを有し、揮発性、不燃性、水に難溶。ドライクリーニングのシミ抜き、金属・機械等の脱脂洗浄剤等に用いられるなど洗浄剤・溶剤として優れている反面、環境中に排出されても安定で、テトラクロロエチレンなどとともに地下水汚染の原因物質となっている。急性毒性は皮膚・粘膜に対する刺激作用で、目の刺激、眠気、頭痛、倦怠感とともに、認知能力、行動能力の低下など。日本でも高濃度暴露による死亡事例が労働災害として報告されている。

※3【テトラクロロエチレン】有機塩素系溶剤の一種。俗称として「パークレン」とも呼ばれる。無色透明の液体でエーテル様の臭いを有し、揮発性、不燃性、水に難溶。ドライクリーニングのシミ抜き、金属・機械等の脱脂洗浄剤等に用いられるなど洗浄剤・溶剤として優れている反面、環境中に排出されても安定で、トリクロロエチレンなどとともに地下水汚染などの原因物質となっている。急性毒性は目、鼻、のどなど皮膚・粘膜への刺激、麻酔作用が主で、手の痺れ、頭痛、記憶障害、肝機能障害等の症状が、また慢性毒性は、神経系への影響や、肝・腎障害等の報告がある。

※4【ジクロロメタン】有機塩素系溶剤の一種。洗浄剤・溶剤として優れている反面、環境中に排出されても安定で、地下水汚染の原因物質の一つとなっている。

※5【ダイオキシン類】ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン(PCDD)、ポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)、ポリ塩化ビフェニル(ダイオキシン様 PCB)の総称。塩素を含むものを焼却する過程などで生成され、環境中にも極微量ではあるが存在している。毒性が懸念されているが、日本における日常生活の中で摂取する量では、発がん等の危険性が生じるレベルではないとされている。

【油分】:ノルマルヘキサン抽出物質 各種の油脂、精油類を抽出する溶剤として使われ、主として排水中に含まれる比較的揮発しにくい炭化水素、炭化水素誘導体、グリース油状物質等を総称している。鉱油及び動植物等の油分の量を表す指標として使用されている。

【要請限度(自動車騒音に係る)】 騒音規制法(1968)に基づく自動車騒音対策に係る行政措置。住居の集合地域や病院・学校の周辺地域であって、騒音規制法に基づく指定地域に指定されている地域における自動車騒音の一定の限度をいう。市町村長は、その限度を超え道路周辺の生活環境が著しく損なわれると認めるときには、都道府県公安委員会に対して道路交通法に基づく交通規制等の措置を講じるよう要請できる。また、市町村長は道路管理者に対して道路構造の改善等について意見を述べることができる。

【用途地域】 都市計画法では、秩序ある街づくりを行うために、市町村の中心街とその周辺地域に、12種類の「用途地域」を定め、地域ごとに建ててもよい建物の用途を規制している。そこでは、土地の用途やそこに建てる建物の大きさ(建ぺい率・容積率など)を制限し、用途にふさわしい環境を保とうとしている。12種の地域とは、第1種・第2種低層住居専用地域、第1種・第2種中高層住居専用地域、第1種・第

2種住居地域、準住居地域、近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域、工業専用地域である。

ら

【ライフスタイル】 生活様式、生きざま。大量生産・大量消費・大量廃棄型社会の今日では、自分に合った生活様式、多様な生活様式が好まれ、このような個性的な生活様式(ライフスタイル)が環境問題との関わりが深い。

【流域関連公共下水道】 家庭や工場等から出る雑排水や汚水を集め、流域下水道*1の幹線管渠に接続するまでのもので、事業主体は市町村。

※1【流域下水道】市や町のワクを越えて2つ以上の自治体の下水をまとめて処理する下水道で、市町村ごとに処理するよりも効率的に処理することができる。

【流域関連特定環境保全公共下水道】 公共下水道のうち、農村部の中心集落における下水を排除し、または処理するもので、流域下水道に接続するもの。設置及び管理は、原則として市が行う。

【硫酸イオン】 SO_4^{2-} であり、それ自体は酸でも塩基でもありません。強酸である硫酸(H_2SO_4)とは異なるため注意が必要です。『硫酸を含む』という場合は、硫酸イオン(SO_4^{2-})と水素イオン(H^+)とを同時に多量に含み、強酸性を呈する場合を言います。『硫酸イオン』を含むという場合は、単に SO_4^{2-} を含む場合を指す。

【リン】 総リンはリン化合物全体のことで、無機態リンと有機態リンに分けられます。リンは、動植物の成長に欠かせない元素で、富栄養化の目安になるもの。

【リフューズ(refuse)】 断る、という意味から、ごみになるものを買わないこと。

【リデュース(reduce)】 減少する、下げるという意味から、ごみの発生源となる行動を抑制し、根本からごみの減量をすること。

【リユース(reuse)】 再び利用すること、再利用を意味することから、製品をそのまま、もしくは修理するなどして再び使用すること。

【リサイクル(recycle)】 再循環させること、再生利用するという意味から、もう一度資源として利用し再生して使用することを意味する。

●リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル、をあわせて「4R」ともいう。また、リデュース、リユース、リサイクルで「3R」ともいう。

【類型指定】 水質汚濁に係る環境基準のうち、生活環境の保全に関する環境基準は、河川、湖沼及び海域のそれぞれに、利水目的に応じて2つ以上の類型を設け、浄化目標値を定めています。このため、特定の水域の浄化目標を設定するためには、環境基準の2つ以上の類型の中から目標とする類型をあてはめなければなりません。このあてはめをいう。

【レッドリスト】 絶滅のおそれのある野生生物(動植物)のリスト。通常、種または亜種、変種の水準で記載され、絶滅の危険性の高さによるカテゴリー分けがなされている。